

★[高企連携] News & Topics
北海道 手厚い側面支援 etc. 2
東北 就職説明会 etc. 3
関東・首都圏 安全体感教育 etc. 5
東海・北陸 職業探検ミッション etc. 8
近畿・中国・四国 全工程対応一貫体制 etc. 9
九州・沖縄 次世代継承 etc. 11
グローバル インドネシアレポート 12

キャリア & 就職支援 ジャーナル

高校の先生方との連携による紙面編集

「キャリア&就職支援ジャーナル[高等学校版]」は高校の先生方と民間企業・行政機関、および大学・短期大学・専門学校等を結びつけるフリーペーパーです。Career & Job-hunting-activities Times for High School teachers [通巻第60号]

高校新卒人材採用成功のカギは、就職指導担当教員との信頼関係

紙上再録

小林 英明氏

多摩地区高等学校進路指導協議会参与/キャリア教育支援協議会顧問

高校生がミスマッチのない就職を実現させることを後押ししているキャリア教育支援協議会（本部東京・新宿区）の顧問として活躍中なのが小林英明氏だ。年度最終号の本号では、3月7日、株式会社ライセンスアカデミー（本社・同）で行われた企業の人事・採用担当者を対象とする「高卒人材獲得セミナー（新宿会場）」の小林氏による基調講演「高卒採用活動の基本 学校・教員へのアプローチ 学校訪問の準備と実際」の内容についての詳細をお伝えする。

「進学校」と「進路多様校」 高校の態様によって異なる指導

本日は、大きく分けて「高校生の進路選択の流れ」と「学校訪問の準備と実際」の二つについてお話をいたします。

高校生の進路選択がどのように行われているのかということですが、これは、高校が有名・難関大学進学を目指す「進学校」と、専門学校や就職を目指す生徒が比較的多い「進路多様校」とでは事情は大きく異なります。

進学校であれば、高校1～2年次から「文理選択」が行われ、学部・学科の系

統や将来の仕事・職業への理解をはじめ、大学入学共通テスト対策、志望校・受験校の検討や対策などが早期から行われることになるでしょう。

一方、進路多様校では、1年次は進学・就職に関係なく進路選択の基本や職業理解・職業意識形成に関する学習をし、2年次からは大学・短期大学志望、専門学校志望、就職志望に分かれ、各自の希望進路に応じてアウトラインの知識を得ます。そして3年次は生徒一人ひとりに対して個別にいい指導を行うというのが一般的です。

文部科学省が発表してい

る『学校基本調査』によれば、高校卒業後の進路として就職を選択した生徒は、令和5年3月卒業生で14.2%、令和4年3月卒業生で14.7%と、近年は15%前後となっています。その視点に立てば、卒業生のうち20%以上の就職者を輩出しているような高校は、企業・人事採用担当者の方々にとっては積極的にアプローチしていく必要があると言えることができるでしょう。

高等学校就職問題検討会議 「申し合わせ」を遵守する

ただし、ここで注意しなければならないのは、高校新卒予定者における就職活動の約束事です。

これは、厚生労働省、文部科学省による全国統一的な採用選考期日等の申し合わせを踏まえた上で、各都道府県において雇用対策主管部局、私立学校主管部局、教育委員会、学校側代表、経済団体、労働局などからなる「都道府県高等学校就職問題検討会議」で応募・推薦や地域の実情に応じた企業の求人活動等について、毎年「申し合わせ」を行い、当該申し合わせを関係者が遵守する「慣行」によってその動き方が決められている点です。求人票の



プロフィール こばやし・ひであき ●昭和51(1976)年、都立高校教員として着任。以来、平成21(2009)年まで通算24年間、学級担任として指導に注力する一方、進路指導はもちろん、修学旅行、部活動合宿等の校外宿泊行事の企画運営にも携わる。多くの業界・職種の人材との交流の中から手繰り寄せた職業観・勤労観をベースに平成22(2010)年から就職指導を展開。平成31(2019)年3月に定年退職。現在は多摩地区高等学校進路指導協議会(多摩高進)参与およびキャリア教育支援協議会の顧問。



多くの聴講者を惹きつけた小林英明氏の講演

公開は7月1日以降と定められており、もしも4～6月の期間に高校教員や生徒に求人情報の内容を伝えたり、応募の勧誘をしたりすると、この申し合わせから外れてしまうため、企業の人事・採用担当者の方々には注意が必要です。

仮に、申し合わせを遵守していないと判断されれば、高校からの報告が教育委員会経由でハローワークに届き、当該企業に注意や指導が入ることになるため、「知らなかった」「うっかり話をしてしまった」ということがないようにあらかじめ十分に理解を深めておく必要があります。

時代はキャリア教育視点 外部機関との連携・協働

私が高校現場で指導をしていた頃は、企業等の担当者が高校内で自社の説明をしたり、例えば商品づくりなどにおいて一緒にコラボレーションをしたりすることはなかなか難しい時代でした。しかし、いまは「キャリア教育」の一環として積極的に大学や短期大学、専門学校、企業等と連携を図って生徒のキャリア観を醸成させる取り組みが推し進められています。

4面に続く

就職を目指す高校生のみなさんへ 近刊 5月発行

進路のてびき 2025 就職活動スタート号

就職・公務員編

準備編 就職する前に知っておこう!
実践編 「就職活動」に備えるために
公務員編 社会に奉仕する公務員への道

▲好評既刊(2024年度・就職活動スタート号)

優良&堅実経営

業界&企業研究のための最新情報!!

就職活動の気になるギモンを徹底解消!!

就職情報 入手のための

「高校新卒者」を積極的に採用・育成している個別優良企業の紹介と共に、日本の産業社会のアウトラインも解説! 就職指導ご担当教員の方、必携の一冊です。

お問い合わせ 進路情報研究センター ライセンスアカデミー

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656



就職に対して生徒が希望を抱く進路指導 各年次ごとに進路を考える多様な機会

北海道札幌琴似工業高等学校定時制(札幌市、宮岡勝郎校長)では、進路説明会や進路ガイダンスを積極的に推し進め、生徒の進路意識の高揚を図っている。その中で、就職希望者の就職先は年内に決定する傾向が顕著になってきている。好結果を出す指導はどこが違うのか。進路指導部長の真鍋孝徳教諭にお話をうかがった。

●進路行事は各学年で通年開催

就職をする場合、業界や職種など決めるべきことは多い。そのため、早くから自身の希望する就職先を確定させることは、在学中の学びをいかに充実させられるかに大きくつながってくるだろう。その点では、北海道札幌琴似工業高等学校の定時制は最終学年である4年次だけではなく、1～3年次生をそれぞれ対象とする多様な就職指導が展開されていることにより、早期から目指したい進路に向けて注力して歩むことが可能だ。

同校では、4月に入学した新入生対象の「進路オリエンテーション」をはじめ、「キャリア教育面談」「業界説明会」「職業・進路適性

診断テスト」「進学ガイダンス」、そして、企業から「はたらく」人を招き、実社会に向けての準備として必要な力を育てる『はたらく』プログラム』など、就職や進学を問わず、進路に関わる行事を年間で行っている。

令和5年度の場合、4月には1年次の進路オリエンテーション、5・6月には4年次のキャリア教育面談、「はたらく」プログラム、業界説明会、7月には1年次の「はたらく」プログラムが2回開催された。9月になると、3年次のキャリア教育面談と2年次の職業・進路適性診断テストの一回目を実施し、前期課程を修了した。

10月以降の後期課程で

は、各年次で進路行事が数多く実施された。2年次の職業・進路適性診断テストの2～4回目、1年次の業界説明会などが開催され、3・4年次だけではなく、早期から生徒たちが進路や目標を築く機会が非常に充実していることが分かる。11月には3年次の業界説明会と、4年次の「はたらく」プログラムの3回目が開催された。12月には1年次と4年次は「はたらく」プログラム、2年次は進学ガイダンスが実施され、年内の進路行事は修了した。

年始の冬季休暇が明けた1月には、ほかの月とは異なり4年次の「進路体験報告会」が開催された。これは、進路が確定した4年次の生徒が進路選択を控えている後輩の前で自身の進路活動を報告する公聴会だ。進路活動の集大成である4年次生徒にとっても、これから本格的な進路活動を行

っていく1～3年次の生徒にとっても、この進路体験報告会は非常に重要な役割を担っていると言えるだろう。

●「希望」と「目標」がある進路活動

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の影響により、通常対面で行われてきた進路ガイダンスを中止する学校が少なくない中、同校ではオンラインによる実施に切り替えるなど、情勢に大きく左右されることなく進路指導を進めてきた。そのため、生徒たちは順調に進路意識を醸成することができ、就職希望の生徒は全員年内に内定を得たほどだという。

進路指導部長の真鍋孝徳教諭によると、「就職指導において最も大切なのは、入学時から就職に対して希望を持ってもらうこと」だという。定時制に入学する生徒は、複雑な事情がその背景にあることが少なくない。全日制と比べると、将来の幅が狭まってしまうのではないかと思込んでいる保護者や生徒本人も多いようだ。しかし同校では、



1年次の入学早々、保護者を含むガイダンスで「この高校に入学して良かった」と思ってもらえるように、過去の卒業生と進路指導の教員が積み重ねてきた実績をしっかりと伝えている。

就職も進学も可能な環境であることを早期から伝え、生徒が希望と目標を持って学校生活を送ることを側面支援する。

「郷土を愛するとともに、地域産業の持続的な成長を担う職業人に求められる資質・能力を身につけた生徒の育成」をスクール・ミッションに掲げる北海道札幌琴似工業高校。このミッションの達成に大きく貢献しているのが、こうした進路指導と深い関わりを持つ各行事だと言えそうだ。自分の進路に関して生徒に希望を抱かせる同校の進路指導から今後も目が離せない。

一人じゃない、 ひとり暮らし。

新生活をスタートさせるみなさんの気持ちに寄り添い、健やかで豊かな暮らしをサポートする生活環境をお届けしたい。それが私たち「学生会館」の願いです。

まずは**無料エントリー!**

※エントリーをキャンセルされても一切費用は発生しません。

見学できます!

※土・日・祝もOK! まずはお電話ください。

その他お問い合わせはコチラ



0120-97-4334

電話受付時間

9:00～17:30

4～9月【平日のみ】10～3月【年末年始を除き無休】

詳しくはこちらを検索!

<https://dormy-ac.com>

共立の学生会館



検索

よい朝のために。

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES

株式会社共立メンテナンス札幌支店

〒060-0051 札幌市中央区南1条東3丁目11-9-1F

◆TEL:011-233-1234 ◆FAX:011-233-1235



東北 就職説明会&業界研究会 伝統技術の世代間伝承

Event Report 高卒就職説明会 業界研究会 地元企業と高校をつなぐ進路イベント 生徒・企業ともに高い満足度で活況

進路情報研究センター・ライセンスアカデミー仙台支社（仙台市）は、地元企業と高校生をつなぐ「高卒就職説明会・業界研究会」を全国各地で開催している。本稿では、2月15日に実施された福島会場の様子や参加者のナマの声をお届けする。

●**鮮度の高い情報を対面で**
進路情報研究センター・ライセンスアカデミー仙台支社（仙台市）は2月15日、福島市近郊の高等学校に通う1・2年次生を対象とする「高卒就職説明会・業界研究会」をウィル福島アクティおろしまち（福島市）で開催した。



高校生235人と地元30企業・機関等の人事・採用担当者が参加した

これは、高校卒業後の進路の一つとして就職を考えている生徒が特定の企業ではなく、幅広く「業界研究」や「企業研究」を進められるように設計されたもの。業種・職種が偏ることなく複数の企業の人事・採用担当者から直接説明を受けることができるのが特色だ。

当日は、聖光学院高等学校（福島県伊達市）と松韻学園福島高等学校（福島市）の1・2年次生徒235人が参加。地元企業を中心に「製造」「物流」「サービス」「小

売」「福祉」「建設」「官公庁」など、多様な業界等から30社・機関等の人事・採用担当者らが出席し、説明を行った。

●**進級前に進路意識を高める**
参加した生徒からコメントを募ると、2年次生徒からは「興味があることや自分のやりたいことが見つかった」「3年生になるにあたり職業研究が進んだ」といった声が寄せられた。最終学年への進級を控える2年次生徒にとって、進路意識をより高める契機となったに違いない。

1年次の生徒は「まだまだ先のことだと感じていま



ラ社仙台支社は1~2月、会津若松市・郡山市・福島市において高卒就職説明会・業界研究会を開催した

したが、早めに将来を考えたのではないかと思いましたが「世の中には多くの仕事があるんだと分かりました」とコメント。早期からこうしたイベントに参加し、自己分析と企業研究を積み重ねていくことで、就職活動の「準備不足」を防ぎ、自分に最適な企業を見つけ出すことにつながる。生徒目線でも収穫の多いイベントとなっただろう。

同イベントを主催したラ社の工藤慧氏は、進学と比べて就職希望者が企業から

直接話を聞く機会が少ないのではないかと感じていたという。「求人数が多い時代だからこそ、ミスマッチのない進路を選んで欲しいと思いました」と、イベント開催に至った経緯を明かしつつ、参加した生徒の最後に期待を寄せた。

ラ社では今後も高校生の進路選択をサポートするイベントを開催し、最新の情報を発信していく。仙台支社では7月1日の求人票公開後、7月11日に次回開催を予定する。

クリア工業株式会社 「左官技術」で人々の暮らしに貢献 高度な技術を若い世代に伝承

「住まう人、利用する人が、より快適で安全に過ごせる空間を提供し、幸福感を感じてもらう」を使命に掲げるクリア工業株式会社（本社・仙台市、佐藤宏樹代表取締役社長）。事業の軸となる「左官」のほか、技術の伝承を担う若手人材の育成方針に注目する。

●**活躍の場が多様な「左官」**
ビル建築や商業施設などの建築工事から、一般住宅の外装・内装工事や住宅リノベーションに至るまで、「左官」を柱に事業を展開してきたクリア工業株式会社。昭和41年の創業以来、宮城県・福島県・岩手県・山形県をはじめとする東北エリアを中心に実績を積み重ね、長きにわたり人々の安全・安心な生活環境づくりに貢献してきた。

「左官」とは、「鏝」と呼ばれる道具を駆使して、土・砂・藁・石灰などのさまざまな材料と水を用いて建築物の壁や天井、床等を塗り

上げていく仕事。その歴史は縄文時代にまで遡ると伝わり、長い歴史の中で伝統的な技術が培われてきた。

左官には、高層階建てのマンションやオフィスパネル、ショッピングセンターといった鉄筋コンクリート造りなどの大規模工事に携わる「野丁場の左官」、戸建て住宅の内・外装を仕上げる「町屋の左官」のほか、神社仏閣や城郭などの文化財の復元に力を発揮する「伝統工法の左官」、飲食店等をはじめとする店舗の仕上げを行う「店舗系の左官」などがある。同社では、鉄筋コンクリート造の大規模

工事を中心に、人々が日常の中で利用する多様な建物の建設に携わってきた。

●**「真似る研修」で技術習得**
左官は湿気や天候を読み取りつつ、表面を綺麗に整えていかなければならないため、高度な技術を必要とする。そのため、同社が拠点を構える宮城県では、3年間を修行期間とする「養成工」という慣例があるという。同社では、一人の「社会人」としても、「左官職人」としても一人前に成長して欲しいという思いから、たっぷり時間をかけた「新入社員研修」を実施し、若手人材の育成に力を入れて取り組んでいる。

新入社員研修は主に「導入研修」「技術研修」「現場



モデリング手法の採用で短期間で技術習得が可能に

研修」の三つに分かれる。社会人としての基礎を養う導入研修後、見本となる左官職人の動画を手本に、手・身体の使い方や道具の角度、視線を真似る技術研修に取り組む。「モデリング手法」と呼ばれるこのトレーニング方法では自身の練習時の塗り姿も撮影し、お手本との動きの違いを見ることが、「見て盗む力」を養っていく。

その後は、実際の作業現場へと足を運ぶ現場研修、さらには1年間のOJTを実施。新入社員は技術を着実に修得していく。

「従業員たちが日々の仕事に集中できる労働環境の提供」を第一に考える同社



10代・20代が全体の約25%と若手職人が活躍中

では福利厚生も充実。独自の休暇制度の導入や企業主導型保育事業を実施する保育園との提携はその一例で、産休・育休を経て活躍する女性職人も在籍しているという。

このほか、高校新規卒業者を対象に、左官業を実際に体験できる「塗り壁体験会」を実施するなど、「左官」の魅力をより広く発信し、新たな人材を発掘することにも積極的だ。高度な技術を着実に修得していくことが求められるため、「物事にコツコツ取り組むことのできる人」や「目標を持って物事に取り組むことのできる人」などの活躍が期待されている。

がんばれ! 2025 近日刊行
青森県の高中生

青森県の高中生のみなさんが「進路選択」や「就職」を考える時に役立つ情報が満載!! 就職までのスケジュールや面接・小論文・作文試験対策など、「間違いない進路選択」の実現をサポートします。

● **先輩たちが語る! 進学・就職成功体験談**
● **高校生を全力で応援 企業インフォメーション**
● **求人票 会社見学 チェックシート**

お問い合わせ 進路情報研究センター ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656
URL https://licenseacademy.jp/

外国人材 採用&活用
ポイントとヒント

多様な国籍のコラボレーションで生産性を高める!

目前に突きつけられた「少子高齢化」と「人口減少」。今後大きな変容を余儀なくされる「日本社会」の中で、経済規模を維持し、さらなる成長を図るためには! 「日本の未来」に対する示唆と提言が話題!!

お問い合わせ 大学新聞社
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1668

東洋ワークセキュリティ
安全・安心な社会づくりのプロとして

● 基幹事業 警備、総合セキュリティ、建物サービス(管理・清掃)、防犯システム販売
● 設立 2009年(平成21年)
● 資本金 40,000,000円
● 従業員数 3,000人

会社の強み・社風
東北で安定した経営基盤を作り、技術向上に取り組むと共に、関西地方への事業拡大など積極的なチャレンジをしています。など、警備業務のほか、指しお客様に「安全・安心・導教育や事務管理、営業環境」をキーワードに質の等の多彩な職種があり、得意高いサービスを提供する 意分野で活躍できます。

〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-7-18
TEL 022-225-5068
URL https://www.tw-s.co.jp/

Ahresty 整アーレスティ山形
信頼・品質・技術を究める

● 基幹事業 ダイカスト製品製造・機械加工・部品組付
● 設立 1960年(昭和35年)
● 資本金 1億5,198万円
● 従業員数 250人(令和5年10月現在)

会社の強み・社風
当社は、東証プライム上場「株式会社アーレスティ」の100%出資会社です。アルミダイカスト技術で自動車部品を製造し、自動車の軽量化に貢献しています。目指す姿に合わせた研修の成長を支えています。

〒992-0832 山形県西置賜郡白鷹町荒砥乙65
TEL 0238-85-5233
URL https://www.ahresty.co.jp/company/ayc

紙上
再録

ポイントは教員へのアプローチと時期に応じた動き

多摩地区高等学校進路指導協議会参与/キャリア教育支援協議会顧問 小林英明氏



1面より

そのため、多くの進路多様校では、1年次は「働くことについて」、2年次は「業界・職種研究」をテーマに企業の方々の講演を傾聴することも決して珍しいことではありません。

近年は年度末になると教育委員会から「高校外の組織と協力して、どのようなキャリア教育を実施したか」について報告が求められることが多くなりました。大学や短大、専門学校との連携も記載することはできますが、高校としては上級学校に偏らず、企業も含めて幅広い連携を記載してアピールしたいところです。ですから、企業のみならず、講演会等の依頼が届いた際には、ぜひ積極的に引き受けいただき、「働くとは」「企業が求める人材」「仕事のやりがいや厳しさ」などについて語ってみてください。

会社のピーアールを全面的に押し出すことは難しいと思いますが、講演会を通してその会社自体はもちろん、その業界に興味・関心を抱くようになる生徒が増える可能性は十分にあるでしょう。業界に対する興味が湧けば、講演された方の企業に関心を寄せる生徒も結果として出てくるかもしれません。

高校訪問の時期と意味を考える
常に忙しい教員の状況を考慮

続いて、「学校訪問」の準備と実際を考えていきましょう。

企業の人事・採用担当者による高校訪問ですが、これは訪問する目的によって訪問すべきベストな時期は異なります。一般的に4～6月は「今年も採用活動を

しますのでよろしくお願ひします」といった求人予告の挨拶や過去に採用した卒業生の現在の活躍ぶりなどを報告するケースが多くなっています。新規に高卒求人を開始する旨のお知らせもここに入ります。7～8月については、7月1日から求人票が公開されていますので、求人情報の告知や案内がメインになります。しかし、この時期は多くの企業の人事・採用担当者の方々が高校訪問を希望するため、実際にアポイントメントを取って進路指導担当教諭と直接挨拶をするのはなかなか容易なことではありません。仮に、アポイントメントが取れた場合であっても、長時間の話はなるべく避け、早目に切り上げることをお勧めします。

私が高校教員だった頃の話ですが、勤務校の生徒を定期的に採用していただいていた親交の深かった企業の人事・採用担当者の方が挨拶に来られましたが、「今年も採用活動を実施しますので、引き続きよろしくお願ひします」と、資料を手渡すと、ほんの数分程度でお帰りになられました。忙しい高校教員のことを思って短時間で済ませてくれたのであろうこと、そして郵送ではなくわざわざ実際に資料を届けてくれたこととても嬉しく思いました。

アポイントメントを取るのには当然必要ではありますが、しかし同時に昼休みや放課後も不規則に生徒対応している高校教員に「アポを入れやすい時間帯」は存在しないと考えたほうが良いでしょう。企業の人事・採用担当者の方がこの時期に高校訪問をする際は、手短かに済ませるということを感じておくことではないでしょうか。

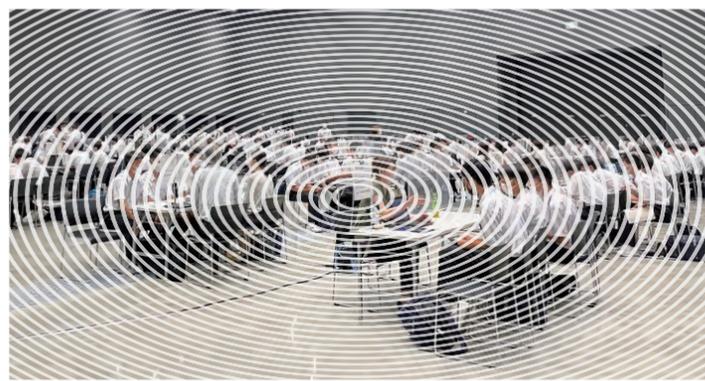
解禁9月16日からの構え
二次募集等の動きは迅速に

そして高校生の採用選考活動がスタートする9月16日以降は、二次募集等の求人の継続案内や応募生徒の採否確定後の挨拶が中心になります。求人の継続案内については「今後も採用活動を継続していきますので、就職活動を続けている生徒がいれば、ぜひ当社も紹介してください」といった形が基本です。

また、採否確定後の挨拶については、採用の場合は教員として非常に嬉しいのは当然ですが、不採用になった場合でも可能な範囲でその理由を教えていただけるとありがたいものです。残念ながら採用試験に落ちてしまった生徒は、第二志望の企業の選考を受ける必要がありますので、改善点についてはできるだけ生徒にアドバイスをしたいと考えているからです。

例えば、「面接の人物評価は良かったが、筆記試験の点数不足が響きました」と言われれば、次は面接のみの選考を実施しようといった対策を取ることができます。ほかにも、「今年は例年よりも採用数を厳選して、例年であれば内定を出せる成績でした」という理由であれば、生徒には「今回は採用数の問題で内定を得られなかったの、会社が求める力は充分であると評価されたようだ。切り替えて次に向けて頑張ろう」と、生徒を励ますことができます。

採用の可否の理由についてはお答えできない企業も少なくないと思いますが、可能な範囲で教えていただくと、生徒の次へ向けてのモチベーションや対策に



つながることもあります。

高校生向けパンフレットの効果
若者に訴求力のあるツールを活用

高校訪問時に持っていきべき持ち物についてお話をさせていただきます。まず、求人票は携行するようにしましょう。7月1日の求人票公開後は当然ですが、公開前でも前年のものを資料として持参することは可能です。公開前に今年の求人情報そのものを伝えてしまうのは先に述べた通り申し合わせから外れてしまいますが、「世間では初任給のアップがニュースになっていますよね。当社も今年は初任給をアップさせる予定です」といった内容程度であれば問題にはならないでしょう。高校訪問前は教員とどのような話をするのか、内容をしっかりと考えてから訪問すると会話も弾み、高校訪問の効果が上がるはずですよ。

また、「高校生向けの企業パンフレット」があると高校側からは喜ばれます。就職希望の多くの高校生は、入社後にどのような仕事をするのかに興味を持っています。一般的な会社案内であれば資本金・売上・所在地・社員数・代表者といった企業情報や事業内容が紹介されていますが、高校生向けに別途写真をふんだんに使って会社の様子や現場の最前線で活躍してい

る高校新卒先輩社員たちのインタビューなどを掲載したパンフレットがあると、就職希望の高校生はより一層興味を抱きやすくなります。制作していないのであれば、ぜひ社内で制作できないか、一度検討してみてください。

加えて、企業・業界紹介のDVDもお勧めします。興味のある生徒に貸し出すことができますし、キャリア教育の一環として業界の仕事や働くことを理解させるのに有益な内容であれば、授業時間で活用される可能性も十分にあるでしょう。特に30分程度のものは、そのような場面でも利用しやすいでしょう。

信頼関係をいかに構築するか
生徒の就職内定率向上に寄与

そのほかでは、企業の社内報や、過去の企業見学者の人数、高卒採用の応募者数、採用者数などのデータもあれば、高校側からは喜ばれるでしょう。

高卒採用で最も大切なことは、高校側との信頼関係の構築です。進路指導担当教員の立場を想像し、しっかりと信頼関係を構築することができれば、就職希望の高校生を採用することができる確率は大きく上がるはずですよ。企業の人事・採用担当のみなさんはぜひ採用活動の参考にしてください。

キャリア教育の変化に
気づいていますか。

キャリア教育支援協議会
・会員企業募集中

キャリア教育支援協議会
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1659 E-mail info@s-kyogikai.com

若者のキャリア形成を応援するスタートアップガイド 最新刊

就職 仕事 資格 起業

につながる学校 2025 高校時代から考えるキャリアデザイン



「起業」という道 起業のための「学び」

- これでわかった! 仕事と学びの関係
- 知っておきたい現代「仕事」事情
- 未来予測 これからの「働く」を考えてみる

本誌は高校生がキャリアデザインを描き出す上で役立つ情報や将来の仕事・就職、スタートアップを考える際のヒントとなるトピック、テーマをさまざまな角度から提供しています。

お問い合わせ
大学新聞社

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1668
URL https://daigakushinbun.com/

大学新聞社は、
就職活動に取り組む
高校生を応援しています。

全国の
学校で
配布中

大学・短期大学、企業の多様な取り組みや活動を鮮やかかつ多面的に描き出します。大学の活動や教育現場などの情報を届ける『大学新聞』をはじめ、著名人のキャリアデザインに関するエピソード、また各業界の第一線で活躍する専門家の仕事内容を紹介する『進路新聞』など、高校生のみならずが社会人生活やキャリアパスを考える上での確かな進路選択に資する充実した内容をお届けしています。

お問い合わせ
大学新聞社

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1668
URL https://daigakushinbun.com/

関東・首都圏 安全体感教育 産学協働開発

群馬県立前橋工業高等学校 生徒の将来を守るための安全教育 産学官連携による本格的な体験実習

大正12年に開校し、令和5年に創立100周年を迎えた群馬県立前橋工業高等学校（群馬県前橋市、森英也校長）。産学官連携による工業高校の取り組みとして注目を集める「工業高校における安全教育」について紹介する。

●「安全教育」の必要性

「機械」「電子機械」「電気」「電子」「建築」「土木」の6学科を擁する群馬県立前橋工業高等学校。実習を通して幅広い知識を持った中堅技術者を育成し、地域社会を牽引する人材の輩出を目指している。

昨秋10月24日、1年次生徒240人を対象とする「工業高校における安全教育」を実施した。これは、建築関係企業、厚生労働省群馬県労働局による産学官が連携した安全教育であり、令和4年から始められた。契機となったのは、同校の教職員による企業訪問によって、卒業生社会人が労働災害に巻き込まれたこ



とが分かり、安全教育のさらなる強化の必要性が高まったことだった。

●安全意識の向上に注力

導入として、前橋労働基準監督署の署長による安全教育講演会を実施。全国や群馬県内での労働災害数を示し、工作機械を使用することの危険性や危険予知の重要性などが説明された。

その後、企業4社による「安全体感教育」が行われた。各社は、高さ7mまで伸びる高所作業車の試乗体験、フルハーネス（墜落制止用器具）装着体験、建設用重機による死角確認、VRによる高所作業を再現した疑似体験などを実施。電気コードから発火する様子や腕に見立てた棒が工作機械に巻き込まれて砕ける場面などを目の当たりにすることで、生徒は現場作業における危険性を認識すると共に、安全意識を向上させ



安全体感教育に参加した生徒は、「事前の安全対策や作業中のコミュニケーションの重要性を理解することができました」「高所での作業は転落事故の危険性もあることを実感しました」など、実体験によって事故を未然に防ぐことの重要性を改めて認識した。

「工業高校における安全教育」は、産学官の取り組みとして県内外の高校、大学、企業などから広く関心を集めているという。植木厚進路指導主事は安全教育を実施する理由について、将来、就職した生徒が工業分野で活躍している姿を期待する土台として、「生涯にわたる安全意識向上を目的に本教育を計画しました」と、根底にある生徒に対する熱い想いを語った。

未来を創る学舎 中京高等学校 通信制課程 地元特産品を活用 生徒による商品開発

●産学連携の取り組み

「人間力の育成」を教育理念に掲げ、通学型通信制課程を展開する「中京高等学校」。

同校では、田子の月函南商店（静岡県田方郡函南町）が扱う新商品を生徒が考案する産学連携プロジェクト「田子の月プロジェクト」に取り組んでいる。これは、平成29年から続く活動で、地元の食を広く知らせることをコンセプトに掲げ、これまでに三島人参の上生菓子、四ツ溝柿のタルトなどを共同開発した。

令和5年度は、沼津校（静岡県沼津市）・伊豆函南校（静岡県田方郡函南町）の生徒が株式会社田子の月（静岡県富士市、牧田桂輔代表取締役）と協働し、地場産品を使用した「さつまぷりん」を開発し、販売を行った。

●生徒が手がけた商品が完成

令和5年度は1年次生徒8人、2年次生徒11人、3年次生徒4人の計23人が参加。1年次生徒が考案し



た三島産さつまいも「紅はるか」と函南町で有名な「丹那牛乳」を用いたプリンの開発が決定。沼津校の1年次生徒は土産となるポストカードの作成や看板の作成、2年次生徒は動画班、ブログ班、接客マニュアル作成班、議事録班、函南校の生徒は販売促進班としてプロジェクトが進行した。

商品開発に当たって、生徒が田子の月本社を訪れ、企画の意図やアピールポイントを説明するプレゼンテーションを行った。田子の月の商品開発担当者が改良を重ねることで、商品が完成した。完成した商品は、昨秋11月18日から三日間、田子の月函南店において販売し、生徒も意欲的に店頭販売に参加。訪れた常連客などの評判も上々で、やがて売り切れとなった。

株式会社イハシ(イシグループ)

100年以上の伝統と実績で安心を提供

- 基幹事業 セルフガソリンスタンドやレンタカー店の運営、ガス器具の販売、リハビリ施設の運営など
- 設立 1950年(昭和25年)
- 資本金 50,000,000円
- 従業員数 747人

会社の強み・社風

ライフスタイルの変化に対応する生活関連事業を行うなど、常に未来を見据えて活動しています。幅広い事業を手がける当社だからこそ、自身の可能性を広げることができます。

〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地1-1-2
TEL 048-985-9111
URL https://ihashi-hd.net

株式会社丸和運輸機関

丸和の強みは「一体感」

- 基幹事業 3PL事業、EC事業(ネット通販)、食品物流事業(スーパーマーケット)、運輸・宅配事業
- 設立 1973年(昭和48年)
- 資本金 3億5,000万円
- 従業員数 11,380人

会社の強み・社風

創業以来運賃経営で10年以上過去最高益を更新しており、安定性は抜群です！成長の秘訣は生活に密着した【ネット通販・食品・医薬品・生活用品】等を取り扱い、成長を後押しします。チームワークを運ぶだけでなく、運ぶ【効率的】を大切に仕事に取り組める環境な仕組みを創り「仕事を展開して」が多くあるので、社会人が不安・いまず、教育制度も充実しており、という方も安心して働けます。

〒342-0008 埼玉県吉川市旭7-1
TEL 048-991-0600
URL https://www.momotarou.co.jp/

出光ユニテック株式会社

パッケージの「もと」が製品です

- 基幹事業 合成樹脂(プラスチック)加工製品の開発、製造および販売
- 設立 2000年(平成12年)
- 資本金 26億円【出光興産(株)100%】
- 従業員数 451人

会社の強み・社風

スーパーマーケットやコンビニエンスストアに並ぶさまざまな商品のパッケージのもととなる「素材」が我々の製品です。GMIキャンディーの袋などに使用されるジッター発行「包装資材シエパー」は国内1位の販売シェアを有します(株式会社日本経済総合研究センター発行「包装資材シエパー」は国内1位の販売辞典2022年版)より。

〒108-0014 東京都港区芝4-2-3 NMF芝ビル6F
TEL 03-6865-8840
URL https://www.idemitsu.com/iut/

太陽鉱油株式会社

人と人の想いを未来へつなぎます

- 基幹事業 エネルギー販売
- 設立 1971年(昭和46年)
- 資本金 44,000,000円
- 従業員数 900人

会社の強み・社風

当社は物流を支える運送会社に向けた軽油販売をメインに、東日本エリアで直営61店舗のポートしますので、ネットワークを有し成長する喜びを感じます。充実した社内研修制度で社員をサナが描けます。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-8-1 TT-2ビルディング6F
TEL 03-5641-5215
URL https://www.taiyou-koyu.co.jp/

東鉄工業株式会社

鉄道工事で人々の暮らしを支える

- 基幹事業 線路・土木・建築・環境等の各事業
- 設立 1943年(昭和18年)
- 資本金 28億3,000万円
- 従業員数 1,883人

会社の強み・社風

当社は、鉄道関連工事を得意とする総合建設業の会社です。人々の暮らしを支える「鉄道」の設備メンテナンスの設備メンテナンスに専門的技術力と安定した受注の強みを活かしながら、[駅・線路]から広がる街づくりを幅広く、「社会基盤の創造」に貢献できる会社です。

〒160-8589 東京都新宿区信濃町34 JR信濃町ビル4F
TEL 03-5369-7650
URL https://www.totetsu.co.jp

高校生と企業をつなぐ『業界研究会』(高校生対象)

高校新卒者採用の可能性を広げる

開催日	開催時間	都道府県	開催都市
4月15日(月)	14:00~18:00	茨城県	水戸
	14:00~18:30	群馬県	高崎
4月22日(月)	14:00~18:00	長野県	松本
4月23日(火)	13:30~18:00	長野県	長野
4月25日(木)	16:00~18:00	埼玉県	大宮
	13:30~17:00	栃木県	栃木
5月24日(金)	13:00~16:00	静岡県	富士
5月30日(木)	15:30~17:30	神奈川県	二俣川
6月7日(金)	13:00~17:00	埼玉県	越谷

*これらの日程以外にも、全国各地で随時開催しています。詳細についてはお問い合わせください。

お問い合わせ: キャリア教育支援協議会 / ライセンスアカデミー

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1659
E-mail kosotsu-saiyo@licenseacademy.jp

株式会社東横イン電建

全国を旅して「一緒にホテルをつくらう!」

- 基幹事業 建設業(電気工事、配管工事)
- 設立 1990年(平成2年)
- 資本金 1億円
- 従業員数 140人

会社の強み・社風

当社は全国に展開するビジネスホテル「東横INN」のみを専門に建設する会社です。景気に左右されることがなく、安定して長く働ける会社が作られています。建設業ですが、携わることが得意な職種は、電気工事、配管工事、設備工事のため危険な作業はありません。常に「ホ」とノウハウがあります。

〒144-0054 東京都大田区新浦田1-7-4 聖徳ビル2F
TEL 03-5480-1045
URL http://www.toyoko-inn-denken.com

デノラ・ペルメレック株式会社

電気化学で地球環境に貢献!

- 基幹事業 電極事業、電解槽・環境水処理事業
- 設立 1969年(昭和44年)
- 資本金 90,000,000円
- 従業員数 300人

会社の強み・社風

当社は不溶性金属電極の事業化を目的に、三井物産、三井造船、イタリアのデノラ社の出資により設立されました。以来、化学を生業とする産業界に貢献しています。

〒252-0816 神奈川県藤沢市湯原2023-15
TEL 0466-87-8831
URL https://japan.denora.com/ja/



第11回「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」



過去最多の参加校数505校、プラン数5,014件 創造力あふれる高校生ならではのビジネスプラン

柔軟な発想で課題を解決 起業家精神を養う全国大会

1/7 最終審査会
1/7 高校生による新たな視点
社会を変えるビジネスプラン

日本政策金融公庫（本部東京・千代田区）は1月7日、第11回「想像力、無限大∞高校生ビジネスプラン・グランプリ」の最終審査会を東京都文京区において開催した。同グランプリは、将来を担う若者の創業マインドの向上を目的に、全国の高校生および高等専門学校生1年から3年次を対象として行われている。

当日は、過去最高となった参加校数505校、プラン数5,014件の中から選ばれたファイナリスト10組がプレゼンテーションに臨んだ。社会課題の解決を図るプランやSDGsを意識したものなど、創造力あふれる多様なプラン

●最終審査会における結果

受賞	高校名 (チーム・個人名)	プランタイトル
グランプリ	田園調布学園高等部 (中村 美月)	世界の女性を幸せにする「テック・ドミトリー」
準グランプリ	栄東高等学校 (中藤 謙吾)	産業用二酸化炭素を回収し、バイオ燃料と土壌改良材の二刀流
審査員特別賞	横浜市立南高等学校 ～藻類 Algae で藻類 Alchemy～	地球温暖化を糸状藻類で止める バイオ燃料と土壌改良材の二刀流
	静岡県立伊豆伊東高等学校 (伊東ヤングアンプラス友の会)	全国に広げよう！ ヤングケアラーの輪
優秀賞	東京学芸大学附属国際中等教育学校 (GlobalJapan)	190万人の訪日ベジタリアンの 食品購入援助サービス
	香川県立高松東高等学校 (ミステリー7)	～創造性を育てる教材～ 「?ミステリーボックス?」
	岡山県立笠岡商業高等学校 (笠岡 勇輝)	北島島 DAIDAIGO ! GO ! [きたり]
	福岡大学附属若葉高等学校 (坂沢 真穂)	HeLPy (小さな Help から大きな Happyへ)
	宮城県農業高等学校 (Jクレ女子会)	#Jクレジット革命
	札幌日本大学高等学校 (白智組)	シェアステディ ～自習場所探しはこのアプリで～

日本のIT人材不足を同時に解決できるという双方にとってインパクトが大きい点などが高く評価された。

中村さんは「まだまだスタート地点に立ったばかりですが、受賞できたことを自信に加え、今後は積極的に活動していきたい」とコメント。同グランプリは、令和6年度も第12回大会の開催が予定されている。募集内容やスケジュールなどについて気になる人は、ぜひ公式サイトを確認してみてください。

「テック・ドミトリー」は、中村さん自身の海外生活の体験をもとに、世界の女性の社会格差問題に着目した点と、

「1/7 最終審査会」で東海地区発表会
ベスト100入りの7組が集結
大学コンソーシアムが支援

日本政策金融公庫名古屋創業支援センター（名古屋市中区）は2月17日、「Tongali」と共催して、第11回「高校生ビジネスプラン・グランプリ」東海地区発表会を名古屋大学で開催した。

Tongaliとは、名古屋大学、豊橋技術科学大学（愛知県豊橋市）、名古屋工業大学（名古屋市）、岐阜大学（岐阜市）、三重大学（津市）の「東海地区国立5大学（東海地区産学連携大学コンソーシアム）」によって平成27年に始まった起業家育成プロジェクトのこと。東海地区の大学の学部生や教職員、卒業生などを対象に、次世代の起業家を育成・支援する多面的なプログラムを提供しており、現在は25校が参加している。

今回の発表会では、5,014件のプラン数の中から書類審査によって「ベスト100」に選出された岐阜県・静岡県・愛知県・三重県の東海4県の高校生6校7チームがビジ



ネスプランを発表。各発表に対し、「株式会社販売促進研究所（本社静岡市）や「NOBUNAGAキャピタルビレッジ株式会社（本社・岐阜市）」などから招かれた専門家4人がフィードバックを行った。

審査の結果、「審査員特別賞」には岐阜県立岐阜高等学校（岐阜市）の「デジタルたんず」、1オオーディエンス賞」には岐阜県立岐阜農林高等学校（岐阜県本巣郡北方町）の「醤油大國日本の課題を解決しよう～醤油粕カイロプロジェクト～」が選ばれた。一方、本稿の冒頭で紹介した1月7日の最終審査会で「審査員特別賞」を受賞したファイナリストである静岡県立伊豆伊東高等学校（静岡県伊東市）「全国に広げよう！ヤングケアラーの輪」も特別発表としてプレゼンテーションを披露した。また、当日は、第7回高校生ビジネスプラン・グランプリで「審査員特別賞」を受賞し、現在は学生起業家として活動している森本陽加里に「Tongali賞」には静岡県立伊豆伊東高等学校の「伊豆伊



8年連続複数プラン入賞 地域課題の解決に取り組む

開催11回目となった「高校生ビジネスプラン・グランプリ」だが、全国で唯一「複数プランの入賞」を8年連続で成し遂げているのが静岡県立伊豆伊東高等学校だ。

同校では、「地域戦略論」の授業を通して、地域が抱える課題を解決するためのビジネスプランを立案することに加え、実際にそのプランを外部のコンテストなどに応募することで、プレゼンテーション能力などに磨きをかけている。毎年優秀な成績を残して高い注目度を誇る同校のプランにスポットライトを当てていく。

1/7 最終審査会 ヤングケアラーを支援 実体験からの着想

「1.7最終審査会」のファイナリスト10組に選ばれ、グランプリ・準グランプリに次ぐ全国3位に相当する「審査員特別賞」を受賞したのが、「米ザウルス2班」の「全国に広げよう！ヤングケアラーの輪」というビジネスプランだ。

共働きの両親に代わり、年が離れた兄弟の世話を日常的に行っているヤングケアラーのメンバーがいる2班。学業が圧迫されていると感じたことがあるという自身の経験か

ら、同じ悩みを抱えるヤングケアラーやそれに近い環境に身を置く子どもたちを食事で支援したいという思いがプランの着想につながった。

そのプランとは、市内の飲食店に協力を依頼し、来店客に1枚100円のチケット「ほんの気持ちチケット」を購入してもらい、10枚で子ども一人に無料で食事を提供できるというもの。来店客は100円から気軽に参加でき、飲食店からドリンクなどの無料サービスが受けられるメリットがある。

地元飲食店で同プランの実証実験を行ったところ、23日間で200枚ものチケットが集まった。その結果、子ども食堂が3回開かれ、のべ26人の子どもに食事を提供することができたという。

この取り組みを知った地元のIT企業から申し出があり、スマートフォンからいつでも子ども食堂の予約ができるアプリケーションソフトウェアを開発も実現した。メンバーの平松美紅さんは「ビジネスプランの発表を通して、ヤングケアラーの認知度を伊東市から全国へとさらに広めること

ができたと思います。地域や企業の方々とコミュニケーションを取ることの大切さを学ぶことができたので、社会に出る時に活かしていきたいと思えます」と、自信をにじませる。

今後は、市役所や学校が把握できていない「隠れヤングケアラー」を見つけ、公的機関への支援につなげていくことを目指していくという。

2/17 東海地区発表会 「人手不足」に着目したプラン マッチングで解消を目指す

「米ザウルス4班」が考案した「伊豆伊東レンジャーZ～単身高齢者と一緒にポイントゲットだZ～」がベスト100に入賞した。

単身高齢者が多く住む伊東市では、買い物や毎日の掃除に困ったり、孤独死の問題が取り残されていたりする点に着目し、近所の若者が気軽に高齢者を見守る仕組みを考えた。「ポケモンGO」をヒントに考えられた「伊豆伊東レンジャーZ」のアプリケーションソフトウェアを介して、「単身高齢者の手伝いをしたい高校生」と「手伝ってくれる人を求めている単身高齢者」をマッチングさせる。

高齢者は1票10円で利用料金を支払い、高校生はポイントを貯めて貸与奨学金や「ボランティア活動証明書」を得ることができる。アプリを通して地元の高齢者と若者をつなぐ部分が高く評価された。

2/17 東海地区発表会 観光業の魅力を伝える 学生に就業体験を提供

「米ザウルス1班」では、観光業への就職希望者数減少や若者の県外流出などによる



アドバイザーから見た伊豆伊東高校 華々しい実績の背景にあるもの

「高校生ビジネスプラン・グランプリ」を主催する日本政策金融公庫は、無料でビジネスプランの作成をサポートする「出張授業」を行っている。伊豆伊東高校も、出張授業を受けた学校の一つだ。

同校のアドバイザーを担当したのは、名古屋創業支援センターの工藤秀利氏だ。5月から始まった出張授業は、「ビジネスアイデアの発想」や「ビジネスプランの考え方」について座学形式で行い、各班が考えるプランに対して個別にアドバイスをしながらブラッシュアップしてきた。

「伊豆伊東高校は、地元企業と連携してさまざまなコンテストに応募するなど、学校外での実践活動をうまく教育に活用していると感じます」と、工藤氏は語る。机上の考案にとどまらず、地域との協力を得ながらフィールドワークや試行を重ね、そこで得た結果や情報をビジネスプランに活かすサイクルができてきているのだという。

「ビジネスには多くの関係者が存在します。自分たちの想いや地域の課題を一方通行で実現



するだけでなく、全体を俯瞰して関係者それぞれのメリットは何なのか、また、ビジネスとして本当に実現可能なのかという点を生徒のみなさんに理解してもらえるように意識しながらアドバイスをしました」

地域や社会にどのような課題があるかを探り、原因を掘り下げ、解決に向けたビジネスプランを考案することは、将来的に「創業」に結びつかない場合であっても、キャリアデザイン上役に立つ経験の一つとなるだろう。今後も、多くの高校生が同グランプリに参加し、柔軟で大胆な発想で大人が驚くビジネスプランが生み出されるように、日本政策金融公庫では高校生に対するサポートを行っている。

とベッドメイキングや講演会を行い、学生に観光業の魅力を伝え、就職を決めた場合には引越越し代金を支給。観光客の来訪はあるが、サービスを提供する側である宿泊施設従事者が足りていないという伊東市の課題解決が期待できるプランとなった。

『高校新卒採用パーフェクトBOOK』

高校と企業を結ぶ「高企連携」を推進！成長の秘訣は高校新卒者の活躍！！

「高校をどのように訪問すれば……？」「採用ルールが分からない」「ノウハウがない」「高校生や先生方に自社を認知されたい」…… etc.

キャリア教育支援協議会
にすべてお任せください！

高等学校と信頼関係を築いてきたキャリア教育支援協議会では、企業の採用活動を全力でサポートしています。「高校新卒採用パーフェクトBOOK」は、大学新卒採用に比べて分かりにくいとされる高校新卒者採用に関するノウハウとルールのすべてが凝縮された一冊です。

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24 (株式会社ライセンスアカデミー内)
TEL 03-5925-1659 e-mail info@s-kyogikai.com
URL https://s-kyogikai.com

キャリアデザインブック

「探究」への導き

2025 最新刊

自分は、将来をどう生きていくのか。いま、なぜ「探究」で学ぶのか――。

いま、社会が大きく変わろうとしています。予測困難な時代の変化に主体的に関わり、さまざまな社会的課題に対応するために「総合的な探究の時間」が設けられました。高校生のみなさんに求められているのは、自分で課題を発見し、解決していく力です。物事の本質を自己との関わりで探り、見極めようとする一連の知的営みである「探究」の学びを指南します。

学びの最新情報を高校生のみなさんに

探究の学びへの導入として現代から未来における社会と人間の在り方を考察

情報の整理・分析や生徒の活動など、さまざまな取り組みのプロセスや成果などを記録できる多様な「ワークシート」つき

お問い合わせ 大学新聞社 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24 TEL 03-5925-1668 URL https://daigakushinbun.com/

東海・北陸 職業探索ミッション

スケールメリット 参加企業138社

愛知県立半田商業高等学校

2年次2学期から進路指導が本格化 職業理解を深めてミスマッチを軽減

愛知県立半田商業高等学校（愛知県半田市、林正也校長）は、大正15（1926）年に「愛知県立半田商業専修学校」として開校以来、創立99年目を迎える伝統校だ。進路指導主事を務める福井大智教諭を訪ね、具体的な進路指導についてお話をうかがった。

●進路に合わせた商業の学び

本校は令和5年度入学者より学科改編を行い、従前の「経理科」「情報処理科」「総合ビジネス科」の3学科から「地域ビジネス科」と「ITビジネス科」の2学科に再編しました。

地域ビジネス科では、商業に関する知識と技術を学ぶほか、専門的な内容をより深く学習するために、2年次には「地域ビジネスコース」と「会計ビジネスコース」に分かれていきます。地域ビジネスコースでは、地元企業や大学などと

協働しながら、マーケティングを中心に“生きたビジネス”の体験を通して起業家精神をもったスペシャリストを育てます。

会計ビジネスコースでは、「会計分野」の知識と技術を習得させ、経理に関して適切に対応するための能力と態度を育てます。

ITビジネス科では、ビジネスで活用するコンピュータや、ソフトウェア・プログラミングなどの情報処理に関して適切に対応するための能力や態度を育てます。

●段階的な早期キャリア教育

例年、3年次生徒の約半数が就職を希望する本校では、希望する就職の実現に向けて、さまざまな支援を行っています。

例えば、2年次の12月には「3社3校調べ」を行い、進学希望者は3校、就職希望者は3社を昨年のデータをもとに調べて希望を提出するほか、「進路面談」では、生徒個々につき進路指導部の教員がついてアドバイスを行います。「研究レポート作成」や「履歴書チャレンジ」では、簡単な自己ピーアールや志望理由、履歴書を書くことに挑戦します。

3月には「職業探索ミッ

ション」と呼ばれる本校主催の企業説明会を実施しています。例えば、「技能と事務」「技能と販売」などのように、自分が希望している企業だけではなく、複数の職種の仕事・採用担当者から話を聞くことで、進路選択時のミスマッチを軽減させたいという狙いがあります。

しかし、工業団地が多いという地域性からか、就職希望者のうち半数は技能職に就職するという現状があります。本校は商業高校ですから、「電動ドリルに触ったことがない」という生徒がほとんどです。そこにミスマッチの大きな危険性が潜んでいて、入社後の離職につながりかねない懸念があります。

こうした課題を解消していくためにも、ものづくりのための技術や安全教育を



進路指導主事 福井 大智 教諭

学んだり、おもしろさや魅力を感じられたりする場を用意できればと思っています。そうすることで、本校生徒も技能職に対してやりがいを見つけ出すことができれば幸いです。

今後の課題は、生徒たちが卒業する時の“出口”を念頭に置き、ものづくりという視点から考えたキャリア教育をいかに行うことができるかだと考えています。ミスマッチを劇的に軽減するためには、根本的な進路指導の在り方を変えていく必要があるのかもしれない。

福井県立坂井高等学校

専門技術を習得した人材を育成 生徒の視野を広げる進路行事

4学科8コースを設置する県内最大級の総合産業高校である福井県立坂井高等学校（福井県坂井市、清水一広校長）では、専門性の高さを活かした幅広い志望進路に対応している。進路支援部長の出口浩史教諭を訪ね、「企業説明会」についてお話をうかがった。

●横断的な4学科の学び

坂井高校では、「食農科学」「機械・自動車」「電気・情報システム」「ビジネス・生活デザイン」の4学科8コースを設置し、専門性の高い探究的な学びを展開している。

令和3年度に文部科学省

から「マイスター・ハイスクール事業」の実施機関として指定を受け、3年目となる令和5年度に最終年度を迎えた。

令和5年度には、農業生産者向けに在庫管理アプリケーションを作成したり、温泉熱エネルギーの活用を図ったりするなど地域連携による取り組みを実践。多様な学科・コースを横断した教育活動を通し

て、地域に貢献できる知識と技能を持った人材の育成を目指している。

●最大規模の企業説明会

毎年3月、1・2年次生徒を対象とする「企業説明会」を開催している。通算6回目となる令和6年開催分では、参加企業数が138社に上った。地域的に最大規模かつ過去最高の企業数であり、当日は参加を希望する生徒の保護者も詰めかける熱気に包まれた。

会場として2カ所の体育館と複数の教室が開放され、企業がブースを設置。1回当たり20分間の時間が設定され、生徒は計6社から話を聞くことができた。参加した企業の業種は、

「製造」「サービス」「医療・福祉」「販売」「建設」「公務員」と多岐にわたるラインナップとなった。

会社の概要はもちろん、業界説明や仕事内容、やりがい、大変なことなどを企業は説明し、いずれの生徒も熱心に耳を傾けていた。

「初めて開催した時は、80社ほどの参加数でした。生徒からは、企業の人事・採用担当者と話ができるという驚きや喜びの感想をもらったことを覚えています」と、進路支援部長の出口浩史教諭は振り返る。

企業と直接話すことができるとなると、これはほかの誰でもない自分自身の進路に関することだという意識が強くなるのだろう、企業説明会終了後にワークシートを回収すると、人事・採用担当者に聞いた仕事内容のメモや感想などについて意欲的に記入している生



進路支援部長 出口 浩史 教諭

徒は少なくないという。

企業側としても、自社のことを少しでも生徒に伝えられるのが嬉しく、20分間という限られた時間の中で、どれだけ自社の魅力を分かりやすく伝えられるかを考えながら練習を重ねて臨んでいるのだと聞く。

「対面のメリットとして、人事・採用担当者みなさんにも“生徒にとって企業のどのような点が魅力に感じるのか”がつかみやすいのかもしれない」と、出口教諭。

坂井高校では、今後も充実したキャリア教育を展開していく構えだ。



大勢の高校生と企業の人事・採用担当者が熱気に包まれた企業説明会

OTA 太田商事株式会社

1655年(承応4年)創業の老舗企業

●基幹事業 建設資材、エネルギー、外食事業
●設立 1921年(大正10年)
●資本金 48,000,000円
●従業員数 270人

会社の強み・社風

当社は愛知県の西三河を中心にガソリンスタンド・コメダ珈琲を運営し、そのほかにも地域に根差したさまざまな事業を展開し、得制度も充実しています。ワンルー

〒448-0841 愛知県刈谷市南桜町1-73 OTAビル9F
TEL 0566-23-5811
URL http://www.ota-shoji.co.jp/

Mikawaye 株式会社三河屋

くらしをもっと美味しく

●基幹事業 食品スーパーマーケット
●設立 1975年(昭和50年)
●資本金 50,000,000円
●従業員数 1,350人

会社の強み・社風

私たちは、愛知県・岐阜県・滋賀県で「ビッグリップ」「Mikawaye」「パワーズ」「サンマート」という4種類の食品スーパーマーケットを展開しており、“お客様との距離感ゼロ”が目標です。世代を超え

た仲間と楽しく仕事をしながら、人々に「美味しい」を提供して食生活を支える仕事をしています。

〒485-0016 愛知県小牧市大字岡下原新田字下新池987
TEL 0568-73-7735
URL http://www.biglive.jp/

愛知県三河地区・静岡県西部の高校生のための **進路応援BOOK**

将来、活躍を目指すフィールドを意識したキャリアを構築するために、有益な情報を多数掲載！進学→就職の成功体験など、地元で就職を目指す高校生のみならず必読です。

▲最新刊(2025年度版)

令和7年度入学者用 **2025 最新刊!**

巻頭 大学入試改革
特集 ～激変する「入試環境」と「学び」

愛知県三河地区・静岡県西部の高校生の進路事情

お問い合わせ
進路情報センター ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

「キャリアデザイン」を考える一冊

仕事・資格 GUIDE BOOK 2025 近刊

将来憧れの職業に就くためには、どのような資格を取得すればいいのか——。本誌では、さまざまな仕事を紹介し、業務内容や必要な資格等の情報を一挙大公開します。

▲好評既刊(2024年度版)

21業種 171職種 217資格

お問い合わせ
ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

東日本版 中野 西日本版

保護者のみなさまへ

2025 最新刊!

自分が進みたいのはどこのか——。進路選びが難しい今の時代だからこそ、保護者の方々にお子さまを支えていただくため、「保護者」世代と「現役」世代の進路事情を俯瞰し、高校生の進路に関する“いま”をお伝えします。

▲最新刊(2025年度版)

巻頭 激変した「進路環境」
特集 保護者世代と現役世代の違い

特別収録 学費調達のモデルパターン
マネープラン・ワークシート

お問い合わせ
進路情報センター ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

近畿・中国・四国 機械器具設置工事業 全工程対応一貫体制



AI時代でも必要な自動化社会と物流を支える建設業 成長を促すていねいな新人指導と充実した労働環境

工場に並ぶ大型の機械など、重量物の運搬・設置を手がける株式会社マルニコーポレーション（本社大阪・寝屋川市、中西大輔代表取締役社長）。自動化が進む産業社会においてプレゼンスを高める同社の管理部総務課長・原弘尚氏に、会社の詳しい事業内容や新入社員に対する指導についてお話をうかがった。

重量物運搬・設置の建設業 世界の最先端技術を支える

当社の基幹事業は建設業で、主に機械の運搬や設置工事を請け負っています。いわゆる「機械器具設置工事業」と呼ばれるもので、当社では設備機器の解体・運送・搬入のみならず、据えつけ・電気工事・配管工事・仕上げ作業・試運転などまで、すべての工程作業に関して一貫して対応することができます。

例えば、回転ずしのレーンや製菓工場のベルトコンベヤなどを作っているメー

カーからの依頼を受けて設置場所に機械を搬入し、組み立てて実際に使えるようにしたり、メンテナンスを行ったりしています。顧客にとって、機械は大切な資産ですから、輸送後もその性能を余すところなく発揮できるように一貫体制のもとで各専門知識を持つ当社のスタッフが丸ごと対応いたします。

また、近年は物流機械の設置も増加しています。大手企業の倉庫はもちろん、宅配業者の場合、AIが荷物を判断し、自動で仕分けてベルトコンベヤで運ぶ自動化が進んでいます。海外のメーカーからの発注も受けており、需要は拡大しています。これまであらゆる機械を取り扱い、どのような現場でも対応することができる技術力を評価いただき、創業から70年の

実績を積み重ねることができました。現在は、業界シェア率は30%を誇ります。

機械の実際の組み立ては、図面を見ながら行うこともあれば、メーカーで研修を受けて組み立てる場合もあります。「機械いじり」が好きな人に向いているかもしれません。依頼があれば世界中に出向き、なかなか見ることができない珍しい機械などを手がけることもあります。その意味では、世界の最先端技術の裏側を見ることができると言えるでしょう。

AI時代でも必要な仕事 研修と現場で人材を育成

機械の運搬・組み立てはAIが発達した社会においても決してなくなることがない仕事です。AIの発達により淘汰される仕事が少ないのではないかと喧伝される中、機械は組み立てやメンテナンスに必ず人間が関わることになるた

め、そこは当社の強みの一つだと思います。

また、信用調査会社である株式会社東京商工リサーチ（本社東京・千代田区）が企業の成長性・経営者能力・安定性をもとに商取引における企業の信用力をランキングにした結果、当社は2年連続で「大阪の超優良企業」に選出されるなど、経営評価としても高い実績を収めています。

当社に入社後は、みなさんには技術職である「サービスエンジニア」として働いていただく予定です。食品工場や菓子工場、病院、印刷工場など、全国の現場に赴き、機械の設置・組み立てを補助する仕事です。

一日のタイムスケジュールとしては、就業開始の午前8時に合わせてその日のメンバーと現場に向かい、作業を開始します。午前中は基本的に一日の打ち合わせから始まり、機械の搬入や積込作業を行います。

お昼休憩後は、いよいよ機械の組み付け作業の開始です。この職業は経験に裏打ちされた部分が必要ですが、先輩の手順を見て覚えたり、実際にしっかりと教えてもらえたりする環境が整っているため、着実な成長を見込めるでしょう。

現場での作業は安全第一ですから、こまめに休憩を取るようになっています。休憩後、残り時間は引き続き



本社を新オフィスに移転しさらなる発展を目指す

組みつけの作業を行います。現場確認をしっかり済ませたところで、その日の作業は終了。会社へ戻り、業務報告・日報処理を終えた後それぞれ帰宅するというのが、おおまかな一日の流れです。初めは慣れないことばかりで大変かもしれませんが、当社では研修などの教育にも力を入れているため、心配は不要です。

物事に取り組んだ経験が 人材としての魅力に直結

これまで新入社員と接してきて思うのは、部活動やアルバイトなど、何かに打ち込んだ経験があると良い方向に作用しやすいということです。採用面接の際にも、自己アピールでは思うように話せていない生徒が、打ち込んでいた活動や取り組みについてイキイキと話し出して、その人自身の魅力が伝わってくるという場面が少なからずあります。また、そうした場で培ったコミュニケーション能力が、入社後もあらゆる場面で役立つことでしょう。高校3年間でどれだけ充実させられるのか、しっかり勉強して、目一杯遊んでください。



管理部総務課長 原弘尚氏

本紙記者の 充実した教育制度と整備されたオフィス

株式会社マルニコーポレーションの魅力の一つとして、人材育成制度の充実具合が挙げられるだろう。

同社では、数年前に新人研修の在り方を見直し、入社後は半年間かけていねいな研修を行うようにしている。

見直し後は、高校卒業後に社会人として初めから現場に出向くのではなく、本社でひと通りの指導を実施している。毎日イラストや文章でまとめレポートを作成してもらい、指導担当社員によるチェックを行うという仕組みに変更。その結果、新入社員の定着率を一段と高めることにつながったという。

指導側の意識にも着目した

日々の業務に加え、新入社員の教育を担当する指導者の負担は小さくはないが、「教えることで勉強になる」といった声もある。新入社員に教えることで、指導者の成長にもつながる育成制度は、今後も同社を大きく伸ばしていくはずだ。

同社では、現代の若者の長所である「教えた分だけ真摯に仕事に取り組むことができる姿勢」を理解し、新入社員の成長に寄り添う意識が指導側にしっかりと備わっている。その理解のもと、成長していくことのできる環境が整っているからこそ、新入社員の定着率向上につながったのだろう。

また、同社は令和6年3月1



明るくきれいなオフィスで従業員の働きやすさを向上



職場環境の整備とていねいな教育制度が成長を促進

日に本社・大阪事業所を新オフィスに移転。従業員が働きやすい環境を整備したことにより、既存の各事業所と合わせて、会社のさらなる発展につながることに期待が高まる。

株式会社マルニコーポレーション

テクノロジーを運ぶ 未来を創る

- 基幹事業 一般建設業（機械器具設置工事業、富士工事業）、倉庫事業、一般区域貨物自動車運送事業、輸出入業務等
- 代表者 中西 大輔
- 設立 1949年（昭和24年）
- 資本金 30,000,000円
- 従業員数 100人

会社の強み・社風

創業以来70年間、安全・確実・高効率な一貫物流によりお客様の大切な資産を「そのままの姿」でお届けすることを使命としてきました。これからも従業員の「専門教育」と「人的教育」を通じて、お客様に満足いただける人材の育成に努めていきます。

仕事紹介

どれだけAIが発達しても 無くならない仕事

精密機械の運搬・術職である「サービスエンジニア」として、機械の設置・組み立てを補助する業務を担っていただきます。当社は、最高のスピードと安全性で、お客様からの信頼を積み重ねていくことをモットーとしており、それを実現するのが現場作業です。そこには非常に高度な技術が必要となりますが、技術は当社が責任を持ってお教えします。

キャリアアップ

入社年数に応じて、成長をサポートするためのキャリアプランを整えています。入社直後は先輩の指導を受け、その後案件の規模に応じて技術の幅を広げていきます。段階に合わせた免許・資格の取得、講習や研修も充実しています。



〒572-0071 大阪府寝屋川市豊里町35-5
TEL 072-827-1136 URL https://www.0202.co.jp/
E-mail h.hara@0202.co.jp

備考 [東京事業所] 〒143-0003 東京都大田区京浜島3-4-5
[九州事業所] 〒813-0062 福岡県福岡市東区松島5-16-10

高校生の確かな進路選びをサポートします!!

大学新聞社 ☎03-5925-1668

お問い合わせ

ライセンスアカデミー ☎03-5925-1656

大学入試合格応援シリーズ

志望校合格を目指す高校生のための進学情報誌です。『大学受験合格 GUIDE BOOK』の『春版』では、冬に実施されたばかりの「共通テスト」の結果をどこよりも早く誌上分析・解説を行います。各誌紙とも、個別大学・短期大学・専門学校等の最新情報と共に入試日程等もお届けします。

大学受験 合格 GUIDE BOOK (春版) | 大学受験 合格 GUIDE BOOK (秋版) | 総合型選抜・AO入試 受験ガイド | 地方入試告知リーフレット

■東日本版 ■中部・西日本版 | ■北海道版 ■東北版 ■関東・首都圏版 ■甲信越版 ■東海4県版 ■北陸版 ■近畿版 ■中国・四国版 ■九州版 ■沖縄版

『系統・分野別情報誌』シリーズ

高校生が、高校卒業後の進路としての学校を選ぶ上で重要な基準となる可能性が高い「好き」「興味」に焦点を当て、系統・分野、領域・ジャンル別の全7分冊に、分かりやすくかつ体系的に編集しています。

2025年度版 (発行者) 最新刊!

No.1 食物、栄養、調理、製菓、生活、服飾、健康、スポーツ分野
No.2 美容、メイク、エステ、ネイル分野
No.3 国際、経済、経営、法、公務員、ビジネス、語学、文学、教育、留学、ホテル、トラベル、エアライン分野
No.4 芸術、音楽、造形、美術、デザイン、まんが、イラスト、アニメ分野
No.5 理・工学、環境、情報、通信、機械、自動車、建築、農学、バイオテクノロジー (生命工学関連) 分野
No.6 看護、医療、福祉、保育、幼児教育分野
No.7 動物、植物、バイオテクノロジー (農学関連) 分野

大学・短期大学研究シリーズ

『大学・短大 進路のてびき』は、大学と短期大学の学びや入試・入学選抜情報、学費の実際など、「受験生なら知っておくべき」基本情報やアウトラインを詳述。『大学探しBOOK』は、「学びたいこと」から進学先が絞り込めるように3分冊構成になっています。

大学・短大 進路のてびき | 学べることから見つける大学探しBOOK | 学べることから見つける大学探しBOOK

■東日本版 ■中部・西日本版 | ①人文科学、社会科学、教養・総合科学 ②理・工、農学、医療・保健 ③教育、芸術、家政・生活科学

進路選択と専門学校の学びシリーズ

『アプローチマガジン』は、最終学年になる前の高校1・2年生向けに、高校卒業後の「進学」や「就職」など、さまざまな進路について整理したガイドブックです。『専門学校 進路のてびき』は、専門学校とその制度全般に関するA to Zを分かりやすくまとめています。

アプローチマガジン | 専門学校 進路のてびき | 職業実践専門課程ガイドブック

■東日本版 ■東海・北陸版 ■近畿・中国・四国版 ■九州・沖縄版 | ■北海道版 ■東北版 ■東日本版 ■東海・北陸版 ■近畿・中国・四国版 ■九州・沖縄版

仕事とキャリアデザインシリーズ

高校を卒業後、進学を果たしたとしても、最終的には多くの人が「働く」ことになります。「キャリアデザインブック」は、就職までのプロセスはもちろん、将来のキャリアパスを切り拓いていく上で有用な資格や検定試験等に関する多様なトピックを詳述し、働くことに対する意識づけを担います。

進路のてびき 就職・公務員編 | 就職・仕事・資格・起業につながる学校 | 仕事・資格ガイド | 仕事から見つける学校資料請求本

■就職活動スタート号 ■就職活動大応援号 ■キャリアデザイン準備号

保護者と教員、自力進学シリーズ

進路環境が大きく異なる保護者世代に現代の高校生との対比を示す『保護者のみなさまへ』、進学資金に関する多様なヒントを伝える『自力進学シリーズ』、また進路指導資料としての評価も高い『高校担任教諭必携進路指導ハンドブック』など、高校生と一緒に進路選択を考える情報誌です。

保護者のみなさまへ | 自力進学 進学支援・学費サポートガイド | 学費ゼロと返済不安のない進学先選びガイドブック | 高校担任教諭必携進路指導ハンドブック

■東日本版 ■中部・西日本版

高校生のための進路応援シリーズ「地域特集ガイド」等

各地域・路線網・交通手段などから考える進路&進学情報誌です。地元の大学・短期大学・専門学校、また企業等の最新情報はもちろん、当該エリア・路線の交通機関&主要通学ルートなどをはじめ、進学事情や通学環境、労働市場や産業構造等も解説しています。

通える学校 | がんばれ! 青森県の高校生 | 長野県の高校生のための進路応援BOOK | 新潟県の高校生のための進路応援BOOK

①中央・総武線版 ②東海線版 ③東武東上線版 ④常磐線版 ⑤高崎線・宇都宮線版

福井・石川・富山の高校生のための進路応援BOOK | 愛知県三河地区・静岡県西部の高校生のための進路応援BOOK | 中国・四国地方の高校生のための進路応援BOOK | 沖縄県の高校生のための進路応援BOOK

イベントガイドシリーズ

『進路相談会徹底活用ガイドブック』では、会場形式相談会の概要を示しています。また、『見学会のてびき』は、企業または大学・短期大学・専門学校など、各種見学会参加時に活用効果が高いハンドブックです。『オープンキャンパスBOOK』は、各校のオープンイベントを特集した進学情報誌です。

進路相談会徹底活用ガイドブック | 見学会のてびき | オープンキャンパスBOOK

■東日本版 ■中部・西日本版 | ■北海道版 ■東北版 ■東日本版 ■東海・北陸版 ■近畿・中国・四国版 ■九州・沖縄版 | ■北海道・東北版 ■東日本版 ■中部版 ■北陸版 ■近畿・中国・四国版 ■九州・沖縄版

その他多様なラインナップ

令和4年度からの新しい教育課程に盛り込まれた「総合的な探究の時間」を念頭に置いた『探究への導き』をはじめ、看護・医療系学校や外国人留学生等、ある特定のテーマやトピックスに絞ったガイドブックなど、非常に多彩な視点とユニークな切り口が好評です。

「探究」への導き | 医療系学校入試データ | 日本留学データ | Global Education | フューチャーライブガイド

■東日本版 ■中部・西日本版

*上記のほかにも豊富に取り揃えています。また、新年度版の発行や、統合・合本化等に当たり、名称や編集内容が変更となる場合があります。詳しくは、大学新聞社(☎03-5925-1668)またはライセンスアカデミー(☎03-5925-1656)までお問い合わせください。

九州・沖縄 熟練技術の次世代継承 建設産業働き方改革 キャリア最前線



次世代に継承される専門職のワザ 自社の専門校で技能を磨き上げる

株式会社ヤマサキ（本社福岡・大牟田市、山崎一正代表取締役社長）は、明治8年の創業以来、一貫して技術と技能を大切にしながら、時代や社会のニーズに応じてきた。「築炉」という特殊な事業を主軸とする同社の社員育成体制に迫る。

株式会社ヤマサキは、鉄を生み出す溶鉱炉をはじめとする各種工業炉の製造——すなわち「築炉」を基幹事業としている。築炉とは、レンガ等を積み上げ、鉄をも溶かす超高温に耐え得る設備を築き上げる。巨大な設備であってもミリ単位の緻密性が求められる。しかし、築炉に関する

技能は簡単に身につくものではない。耐火物などを用いる特殊な技能が不可欠なため、十分な知識と技能が求められる。築炉に関する総合的な知識・技能を問うものとして、「築炉技能士」という国家技能検定が設けられているほどだ。

同社では、築炉に関する技術・技能を安定的に支

ていくために、「築炉科」を有する認定職業訓練校「山崎高等技術専門校」を設置。高等学校新規卒業者で築炉工として入社した人は、入社と同時に専門校に入校し、1年間かけて知識・技能を身につけてから、現場に配属される仕組みだ。技能習得はもちろん、築炉技能士の検定試験合格もバックアップする。経験豊富な指導員から直接指導を受け、仲間との集団生活の中で社会人として必要なビジネスマナーなどを養うこともできる。

職業能力開発促進法に基づく「職業能力開発施設」として認定を受けている同校で学ぶからこそ、通常よりも早く、確実に築炉技能士の合格に近づくことが期待できる。例えば、2級築



職業訓練校で知識と技能を習得し、現場の状況に柔軟に対応できる即戦力を養う

炉技能士は、高校卒業者の場合、通常2年間の実務経験が求められるが、同校を修了すると、1年間早く受検資格が与えられる。

さらに、同校修了時に実施する技能照査の合格者は「技能士捕」の称号が与えられ、2級検定試験の学科試験免除の待遇措置がある。また、同様に1級築炉技能士も、通常より1年間早く取得が可能だ。社内の手厚い指導のもと、1級・2級の検定合格率も高い。

高校新卒者は築炉工以外にも配分工やクレーン工などの「技能職」として活躍

している。築炉の仕事は、さまざまなチームで役割分担・協力しながら作業を進めていく必要があるため、各自の興味や能力・適性に応じて活躍の場が広がっている。大きさも用途も異なるさまざまな設備を製造・メンテナンスするが、似通った作業も多くあるため、コツコツと続けていける粘り強さも重要な素養だ。

令和7年には、創業150周年、そして鉄鋼業界進出100周年を迎えるヤマサキ社。歴史ある伝統を後世に受け継ぎ、より高みを目指していく。

山崎高等技術専門校修了後の道

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
山崎高等技術専門校	入校(修了)	検定試験受検合格 2級築炉技能士資格取得	1級受検に必要な実務経験		検定試験受検合格 1級築炉技能士資格取得	
一般		2級受検に必要な実務経験	検定試験受検合格 2級築炉技能士資格取得	1級受検に必要な実務経験		検定試験受検合格 1級築炉技能士資格取得

九州地方整備局 キャリア最前線

建設業の「働き方改革」担い手の確保と育成を強化

●「働き方改革」を強力に推進

国土交通省九州地方整備局は3月18日、建設業のさらなる「働き方改革」を推進するため、九州・沖縄ブロックの令和6年度の新たな取り組み目標の設定を公表した。

地域の守り手でもある建設産業の中・長期的な担い手の確保・育成に向け、建設業の働き方改革を加速化させることが急務となっている。九州・沖縄ブロック土木部長等会議では、令和元年度より、建設業の働き方改革推進に向けた共通の取り組み目標を定め、取り組んできた。

今回、令和6年度の取り組み目標として①「週休二日工事」②「インフラDX」③「工事関係書類」④「建設業の魅力発信」——の四つを設定した上で、週休二日工事とインフラDXのそれぞれに新たな内容を盛り込んだ。

週休二日工事では、令和6年4月から建設業においても罰則付きの時間外労働規制が適用されることに伴い、災害復旧工事以外のすべての土木工事を「週休二日工事」の対象とし、今後も適切な工期設定や経費補正を行い、「休日の量の確保」から「休日の質の向上」

を目指すとした。具体的には、月単位での週休二日の実現に向けた取り組みを進める。新たな内容として、毎月第4土曜日を統一現場閉所日に設定。各県が独自に実施している統一現場閉所の取り組みについても、県内の各機関で推進していく。また、受発注者間で一週間のルール（スタンス）を定め、計画的に工事・業務を進める「ウィークリースタンス」の導入の検討を進めていくとしている。

インフラDXでは、普及・拡大に向けて、ICT活用工事の対象工種として、土工・舗装（新設・修繕）・小規模土工・法面工に加え、新たに河川浚渫・地盤改良工・付帯構造物設置工の3工種を追加。また、「BIM/

CIM」の拡大・推進なども挙げる。BIM/CIMとは、3次元モデルを導入し、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図る取り組みのことだ。

●現場見学会等で魅力を発信

工事関係書類については、令和2年度から実施している工事関係書類の様式の統一化に向けて、九州・沖縄ブロックの全機関の様式を令和6年度で統一を図るとした。

建設業の魅力発信については、従来の手法に加えてSNS等を活用し、災害時の「地域の守り手」としての活動状況や若い担い手の活動等、建設業の魅力発信の拡充を図る。令和6年度に実施予定の取り組みとし



て、鹿児島県では県内高校生を対象とする合同企業説明会や就職応援キャラバンの開催などを行う。沖縄県では、土木建築を専攻する女子高校生と民間・県等の建設業に従事する女性技術者との交流会の開催を予定している。

高校新卒就職志願者の受け皿としても吸収力のある建設業。建設業経験者はもちろん、将来建設業界への就職を志す若者の長期定着を図るためにも、働きやすい労働環境の保障は非常に重要だ。

キャリア & 就職支援 第60号 高等学校版

大学の先生方との連携による紙面編集

大学新聞社

発行日●令和6年3月29日
 発行人●白田 康則
 編集人●川窪 達也

取材・執筆・編集 ● 加藤 陽一 鬼頭 葵 田中めぐみ 渡部真由子 藤田 曉代 川井 仁美 伊藤 美穂

紙面デザイン&DTP制作 ● 三井 加洋子

●ご意見・ご感想をお寄せください
 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
 編集 ● 03-5925-1668 営業 ● 03-5925-1705
 E-mail info@daigakushinbun.com
 URL https://daigakushinbun.com/

*本紙の記事・写真、および図版等の無断転載、複製、複写、翻訳を禁じます。V-3330,769515#
 ©大学新聞社 2024 Printed in Japan

令和6年度入学者用 好評既刊

沖縄県の 高校生のための 進路応援BOOK 2024

巻頭特集 沖縄県から未来へ羽ばたこう!! 先輩たちの希望進路実現ストーリー

沖縄県内 高校生の就職事情・採用環境

進路決定までの流れ

進学編 就職編

進路情報研究センター ライセンスアカデミー

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
 TEL 03-5925-1656
 URL https://licenseacademy.jp/

株式会社海星ムサシ

店舗運営のすべてを担う店長を目指せます!

●基幹事業 百貨店・スーパーマーケット内の鮮魚・精肉・惣菜専門店運営
 ●設立 1994年(平成6年)
 ●資本金 48,000,000円
 ●従業員数 650人

会社の強み・社風

当社は、全国的にも珍しい、肉・魚を併せ持つ専門店を運営しています。九州から関東まで広がる、供できるのも強みで販売網。地域に合った。職人の技術で、た食材はもちろん、より一層高い商品価値を創造し続けます。

〒810-0071 福岡市中央区那津2-1-3
 TEL 092-718-7311
 URL https://www.kaisei-musashi.com

インドネシアの教育トピックス

対面式 日本留学フェアに500人以上が来場

舞台はスラバヤとマカッサルの2都市 多数の日本留学希望者が来場

約1万7,000もの島々からなる世界有数の島嶼国家であるインドネシア共和国。首都移転で話題のジャカルタ市は、いまの「じゃがいも」と関わりがあり、1600年頃に同市を拠点とするオランダ商船が日本に伝えたことがその語源となった逸話でも知られる。本稿ではインドネシアの日本語学習事情などをお伝えすると共に、2月10・11日に現地2都市で開催された「日本留学フェア in インドネシア」の様子を報告する。

世界第4位の人口を誇る インドネシアの教育制度

国際交流基金(本部東京・新宿区)によると、インドネシアの教育制度は小学校6年間、中学校3年間、高等学校3年間の6-3-3制。義務教育期間は7～16歳の9年間となっている。総務省統計局の「世界の統計2023」によれば、2021年の推計人口は約2億7,375万人で、世界第4位に位置している。

国語はインドネシア語で、主な地方語はジャワ語、スダ語、バリ語などがある。母語が地方語である場合、インドネシア語を国語として小学校1年次生から学習するケースが大半だという。第一外国語は英語で、前期中等教育(中学校)から必修科目として学ぶ。日本語は、後期中等教育(高校)の選択科目の一つである第二外国語の中で、選択する形だ。

日本語学習者数は世界第2位 日本との異文化交流も活発

国際交流基金が昨年3月31日に公表した『2021年度海外日本語教育機関調査報告書』によれば、21年度時点のインドネシアの日本語学習者数は71万1,732人。18年度実施の前回調査と比較して2,253人(0.3%)増えて、世界の国・地域別で中国に次いで第2位となった。同基金によると、日本と経済面での結びつきが強いインドネシアでは、従来から実利的な目的で日本語を学習する者が多かった。一方、最近では日本のアニメーション・マンガ・J-POPをきっかけとして日本語を学習する若者が増えているという。

インドネシアでの直近の日本語教育トピックスとして、昨年11月11～13日に公益財団法人かめのり財団(本部東京・千代田区)が国際交流基金ジャカルタ

日本文化センター(インドネシア・ジャカルタ市)との共催で、バンドン市で開催した「にほんご人フォーラム 2023 in インドネシア」に注目したい。これは、インドネシアにおける日本語教育を盛り上げる中核教師の育成やプロジェクト型学習等の学びの体験などを目的とするフォーラムだ。「防災」をテーマとして現地から選ばれた12人の教師と24人の生徒のほか、6人のファシリテーター教師が参加。西ジャワ州は災害が比較的多い地域であり、参加者がテーマを自分たちに引き寄せ、対話を通して答えを出していく姿が見受けられたという。

また、日本とインドネシアでは、高校間の姉妹校提携や異文化交流活動が活発だ。令和5年度も、インドネシア現地の高校との国際交流に関する報告が日本全国の高校から複数挙がっている。興味のある人はぜひ調べてみて欲しい。

対面式日本留学フェア開催 多くの参加者で会場は大盛況

進路情報研究センター・ライセンスアカデミー(本社東京・新宿区)は2月10・11日、インドネシアの日本留学希望者を対象とする「日本留学フェア in インドネシア」を開催した。会場では参加校ごとにブースを設置し、来場者が時間内に自由に移動できる個別面談形式で実施した(後援:在インドネシア日本国大使館、国際交流基金)。



2月11日のマカッサル会場では500人以上の来場者が詰めかけた



2月10日のスラバヤ会場で日本留学に関する情報を集める参加者



スラバヤ会場はDr. Soetomo Universityの3階 Sumantri 教室で開催された

日本およびインドネシアの学校教育制度(概略)

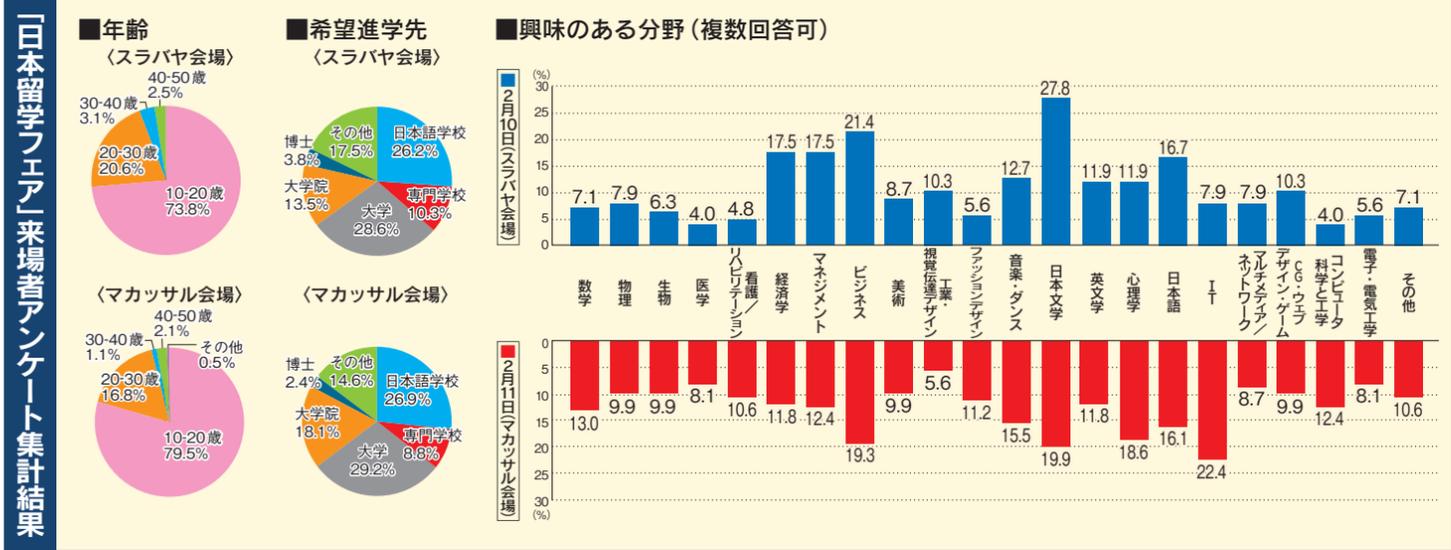


*外務省・文部科学省の発表資料などをもとに編集部で作成。いずれも複数存在する学校系統・ルートの中から代表的なものを抜粋しているため、修業年限や接続の仕方など、これによらないものもある。また、所定の学校卒業・修了、指定単位の修得等を基礎資格として実現する他の学校等への編入学については基本的に割愛。なお、海外諸国・地域に関しては、現地の制度変更等により、ここに示す情報と最新の状況が異なる可能性がある

館、国際交流基金)。初日の2月10日に Dr. Soetomo University (インドネシア・スラバヤ市)で開かれたスラバヤ会場には153人の参加者が訪れた。参加者は各学校の担当者の話に耳を傾けていたほか、書道・たこ焼きづくり・折り紙など、日本文化を体験できるコーナーにも積極的に参加していた。現地では冬季休暇中だったにも関わらず、グレスック県、マ

ラン市、シドアルジョ県、トレンガレック県といったスラバヤ市近郊から、多くの若者が足を運んだ。また、スラバヤ第7国立高等学校をはじめとする現地の高校の日本語教師が生徒を引率して参加する姿も見受けられた。足を運んだ参加者は、各ブースで出願方法や出願条件、新学期に入学する場合の出願時期などについて熱心に質問をしていた。

翌2月11日に同様の後援を受けて、Swiss Bell Hotel Makassar (インドネシア・マカッサル市)で実施されたマカッサル会場には537人の来場があった。参加者は主に現地の高校2・3年次の生徒で、保護者同伴の者も多かった。当日は大雨にも関わらず、いずれのブースも満席になるほど多数の参加者が詰めかけた。なお、9月7日にはジャカルタ会場、翌8日にはバンドン会場と同じく対面形式の日本留学フェアを開催予定だ。



「日本留学フェア」来場者アンケート集計結果